

つがるの昔っこ (昔話) 18

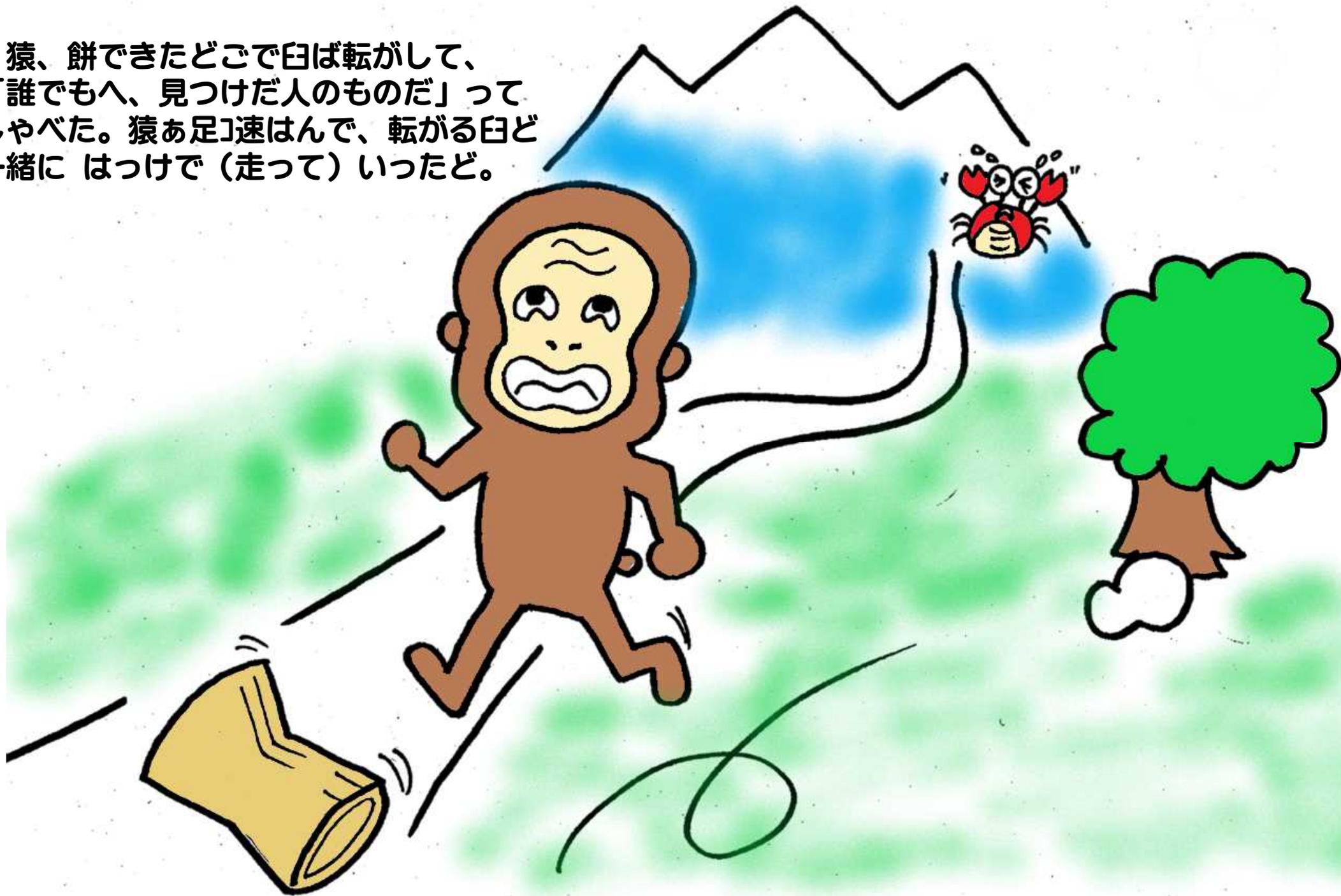
餅争い (津軽弁Ver.)

猿ど蟹あ 友達 (けやぐ) だつもりして
山さいて、餅つぎしてあったど。

国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統合管理事務所
イラスト：やざわ ゆな
カラーリング：つしま けいこ

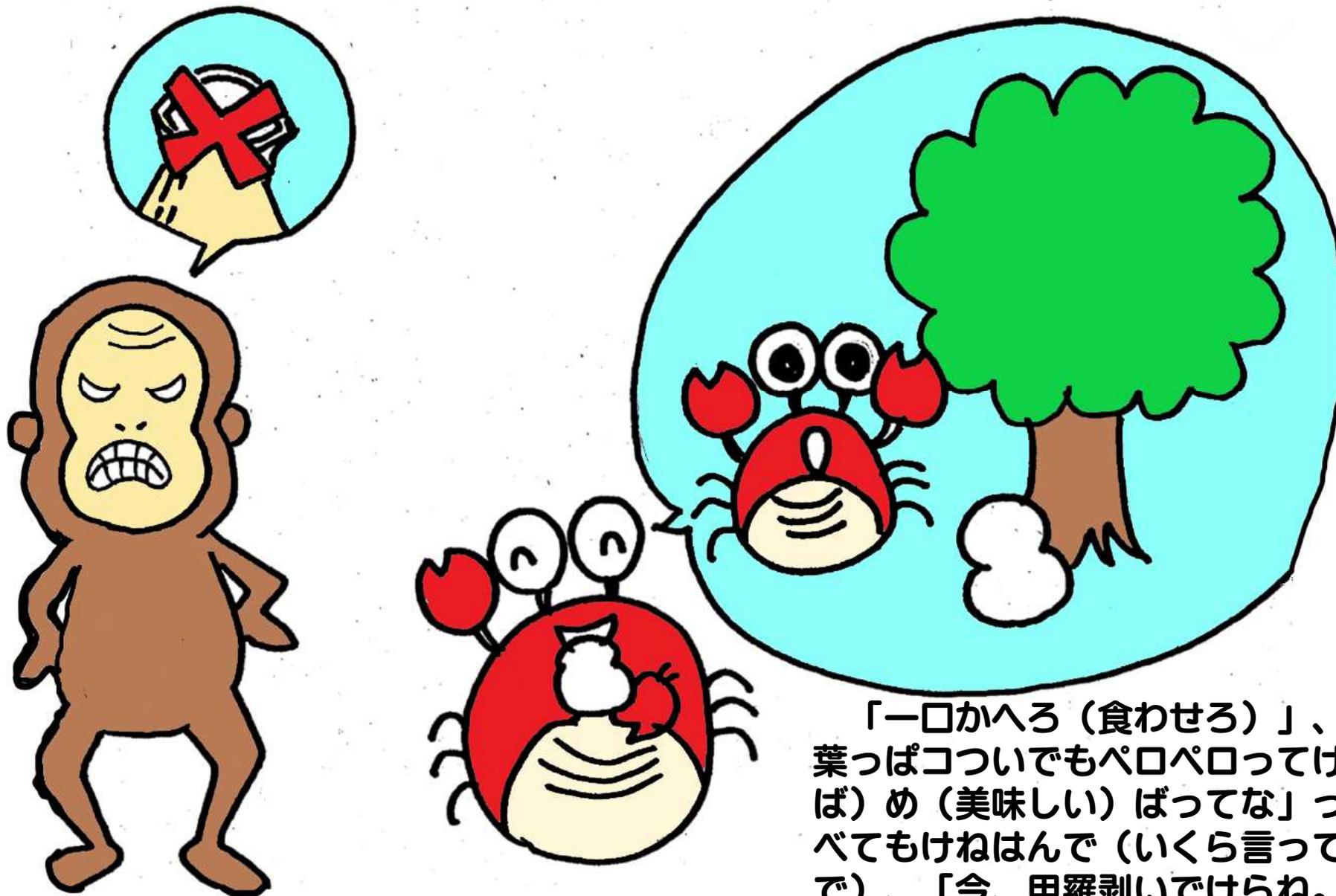


猿、餅できたところで臼ば転がして、
「誰でもへ、見つけた人のものだ」って
しゃべた。猿あ足の速はんで、転がる臼ど
一緒に はっけで（走って）いったど。



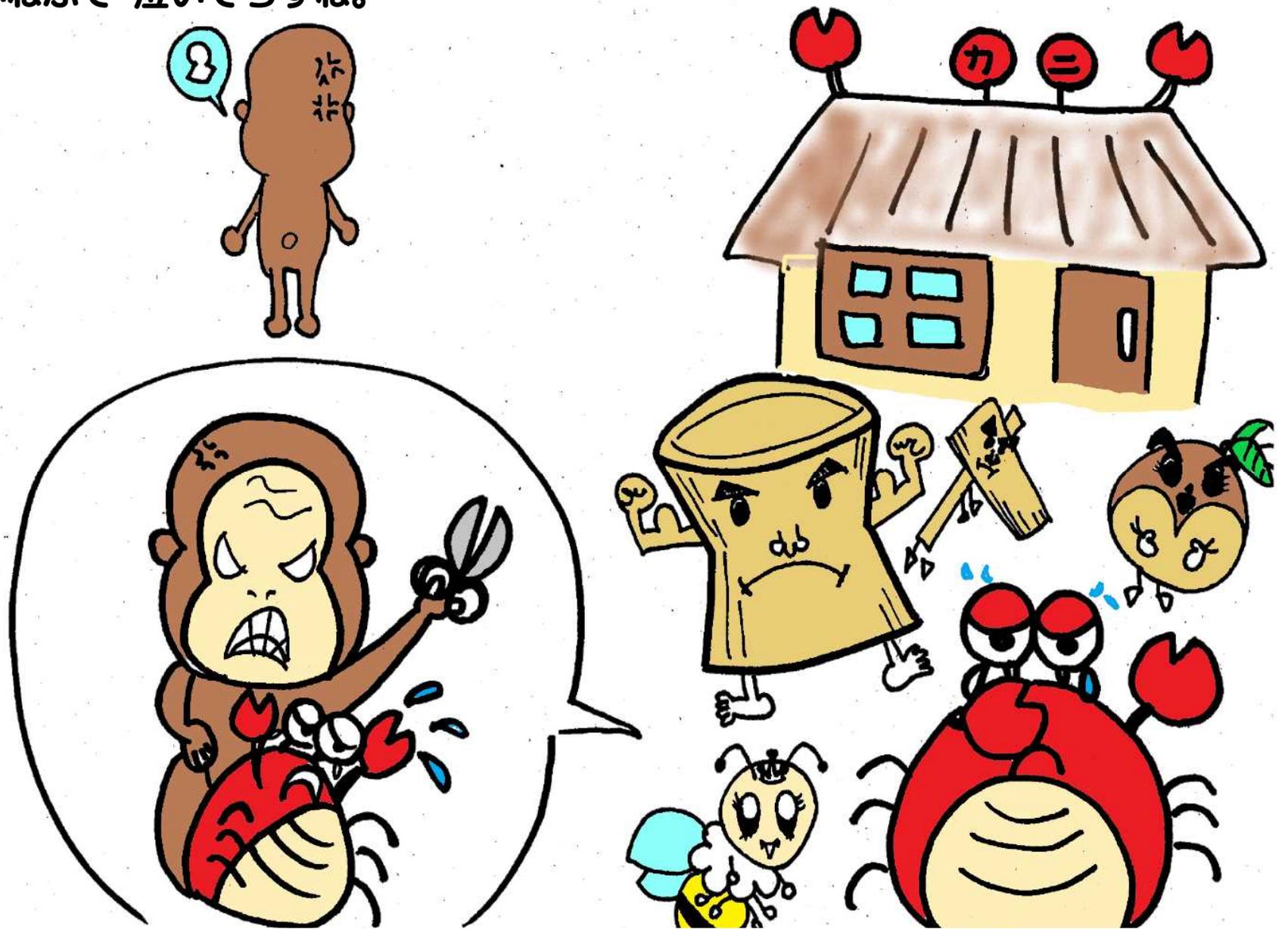
臼止まった所まで来たっきや、臼さ餅 何もはいつてねがった。

蟹 はっけらいねはんで、ムッスラムッスラどあさいで（歩いて）らっきや、木の根っこさ餅」
がっぱど（たっぷり）落ちであったずね。蟹それば食ってらっきや、餅コ何もねがった猿あ戻って
きて蟹ばぶしかったど（怒りました）。



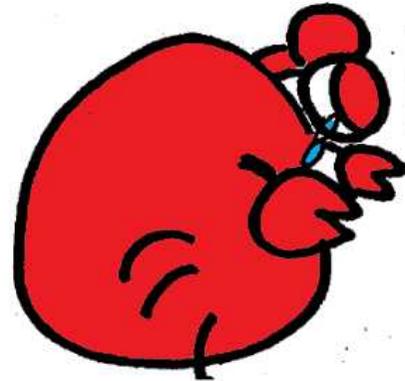
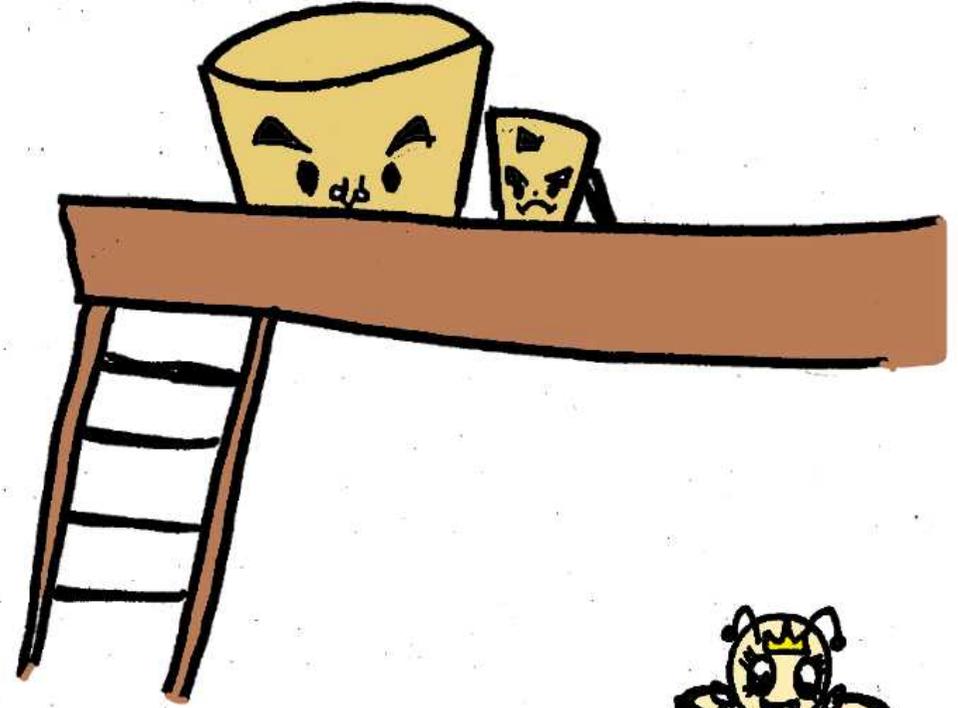
「一口かへろ（食わせろ）」、「土ついでも、
葉っぱコついでもペロペロってけば（食べれ
ば）め（美味しい）ばってな」ってなんぼしゃ
べてもけねはんで（いくら言ってもくれないの
で）、「今、甲羅剥いでけらね。おべじよ！
（覚えてろ）」と言いました。

猿帰って、蟹おかねふて 泣いでらすね。



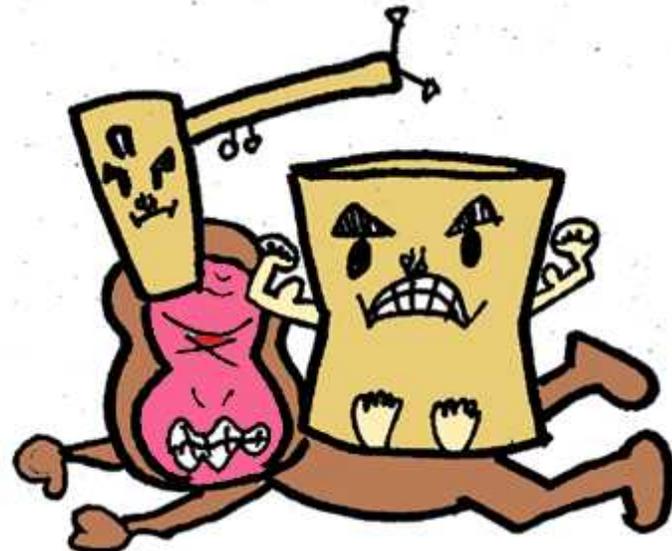
したきや椽（とち）「なしてべちよかいでらば」てしたはんで事情しゃべったきや、「わ手伝うはんで泣ぐな、泣ぐな」ってしたど。今度あ蜂飛んできて聞いた。まんだ事情コ話したっきや「おら手伝うはんで泣ぐな」ってした。したっきや臼ど杵も来た。まんだ事情」を聞いたはんで、「わも手伝い」すはんで泣げすな」ってしゃべったど。

猿、えさ（家に）居ねがったはんで、椽「おらしぼど（囲炉裏）さ入るじゃ」、蜂は「わはカメ（水瓶）さ居る」、臼と杵は「おらんどまげ（屋根裏）さいるはんで」ってしました。



そして今度あ猿、「蟹、まみししちゃん（元気か）」ってきたはんで、蟹おっかねへ（怖くて）なげづらかいだど。

猿「ああさんび（寒い）、たげさんびな」ってしぼどの前さねまって（座って）、灰とば かましたっきや（かき混ぜると）橡跳ねでヤケドさへだど。猿「あっつ（熱い）、あっつ」ってしてカメさ
いったっきや、待ってら蜂 どんずと（尻を）刺した。「わい、いで（痛い）。いでー。」って庭さ逃げる
がったっきや、今度臼ど杵落ちてきて敵とったずね。



とっつばれ